

MIE UNIVERSITY X

三重大学広報誌

# 三重大X

[えっくす]

## CONTENTS

ホットNews

# キャンパスで味わう ランチ&スイーツ大集合

特集  
食II  
05

特集  
学ぶ・育む プログラム「X」  
09

イベント  
11

気になるNews  
13

スポーツ／クラブ・サークル  
15

本の紹介／表彰  
17

お知らせ  
18

歴史街道シリーズ  
22



vol.22 2010 SUMMER



## キャンパスで味わう ランチ&スイーツ大集合

三重大学は  
3店舗の大学生協食堂で  
毎日2,300食を提供しています



### 健康な食事 バランスランチ

バランスのよい食事を選んでいただけるように、メニューの横のプライスカードにイラスト(バランスコマ)で提示し、目でわかる工夫をしています。

また、昼食に食べるとよいとされている食事内容を日替わりでバランスランチとしてメニューに加えています。



厚生労働省農林水産省「食事バランスガイド」の1日に必要な食事量と栄養の1/3がとれます。



### 安心安全な食材

農薬使用や栽培情報が管理されたお米、減農薬・有機農法栽培のほうれん草など、生協独自の食品添加物の自主基準による食材を提供しています。



### 食べる国際貢献

対象となるカロリーを抑えたヘルシー定食や食品をご購入いただくと、1食につき20円(=アフリカの給食1食分の値段)、TABLE FOR TWO<sup>※2</sup>事務局を通じて開発途上国の学校給食1食が贈られます。食べるだけで誰でも気軽に国際貢献できて自分の健康のためになるプログラムです。

先進国の私たちと開発途上国の子どもたちが、時間と空間を越え食事を分かち合う TABLE FOR TWO「二人のための食卓」。



6月1日からは  
3店舗で実施!!



第1食堂  
生物資源学部の横、共通教育校舎の向かい  
営業時間／10:00～18:30(月)～(金)  
11:00～13:30(土)  
休業日/日、祝



第2食堂  
工学部の西側、講堂(三翠ホール)と  
新医学等(看護学科校舎)の間  
営業時間／前期 10:00～18:30  
後期 10:00～19:00  
(売店) 10:00～最終 (麺) 10:00～17:00  
(主菜) 11:00～13:45、17:00～最終  
休業日/土、日、祝  
(前期:4月1日～9月30日、後期:10月1日～翌年3月31日)



レストラン「ぱせお」  
翠陵会館2F  
営業時間／11:00～14:00  
休業日/土、日、祝

\*いずれも、年末年始、夏期・春期は、短縮営業となりますので、ご注意ください。



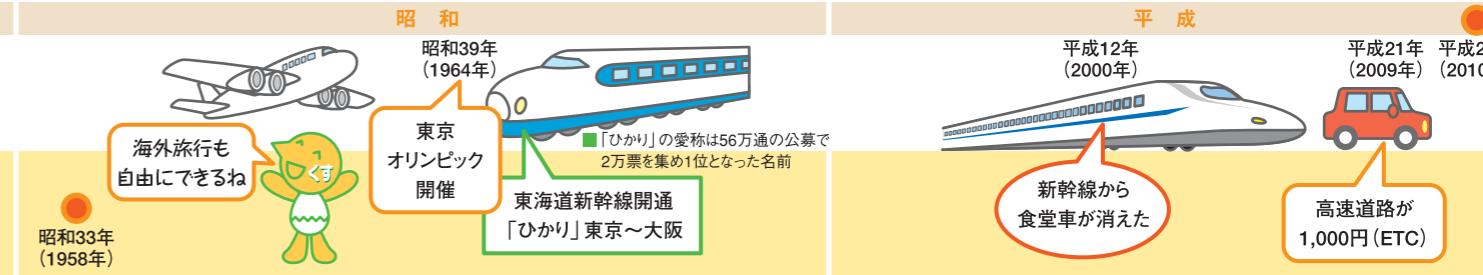


## 旅は

1924年にスタートし2004年にひとまず休刊するまで、現在のJTBにより79年間も発刊されていた月刊旅行雑誌『旅』がありました。『旅』は、旅の目的、方法、魅力、規範を伝えることで日本の近現代観光を牽引してきました。観光は違いを見つけるシステムです。日本各地の風景や文化の違いを提示し、あるときにはそれを作り出し、それによって自分の住む土地とは違った場所にわざわざ行ってみたいと思わせるのです。

## 食べながら移動

不思議なことに『旅』で戦後しばらく郷土食が取り上げられることはほとんどありませんでした。各地の食文化の違いが人びとを惹きつけるようになるのはかなり後のことのようです。ただし当時の鉄道はまだ長い時間をかけての移動を余儀なくしました。その中で空腹を満たす駅弁は重要なアイテムでした。



**明治28年 (1895年)**  
鉄道局「停車場立売服装」規定

売り子服装

- とりうち帽子
- こん無地木綿のはっぴ
- パッチ

**昭和33年 (1958年)**

- 売り子さんはお弁当 (当時100円程度) を一人で一日平均1万円
- 年齢は23~24歳
- お給料も当時の公務員の初任給の約二倍 (大卒10200円)

人気No.1 富山の「ますずし」 売り上げNo.1 崎陽軒の「シューマイ弁当」

**三重県の駅弁**

志ぐれ茶漬／850円(要予約)  
有いとう弁当店 (亀山市御幸町)

モー太郎弁当／1260円  
駅弁のあら竹 (松阪駅売店 松阪駅JR改札横)

## 花形産業「駅弁」

戦後の復興とともに旅行が再びさかんになる1950年代後半。1958年の『旅』に駅弁に関する記事が掲載されています。清潔な調理場では大量に調理するために機械化が推進されていました。駅弁業界は大きな収益を上げていたようです。また、当時の有名な駅弁13種類も紹介されています。その多くは保存の利くスシ類です。今ほど食事の多様化が進んでいなかつたこと、また、冷蔵技術がまだだったことなどが要因ではないでしょうか。

## 近くになった日本

しかし記事はこの駅弁の厳しい将来をも予見しています。駅弁販売業者はアイスクリーム、雑誌、タバコなどの雑貨類の販売権を失い、列車の速度が速くなったことで素通りされたりして駅弁を売るチャンスがなくなるというのです。

今、駅弁は田舎への旅行番組やローカル鉄道とセットとなり、郷愁を誘いながらテレビ番組に登場します。また、鉄道駅を離れてデパートの駅弁フェアでも、ご当地グルメとして販売されています。駅弁は、観光のような他との差異を作り出すシステムの中で商品化されています。それこそが日本の食文化ではないでしょうか。

## プロ農家の経験と勘の継承

現在、日本農業は急速に高齢化が進んでおり、三重南紀地域でもそれは同じことです。のままでは、今まで脈々と培われてきたプロ農家の高度な栽培技術が失われてしまいます。

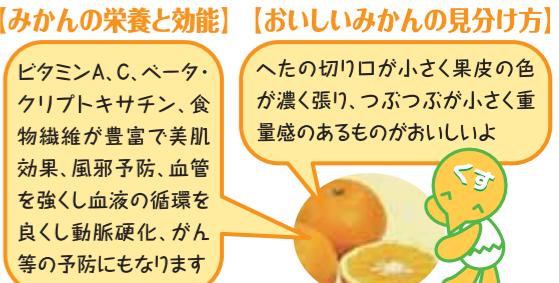


## 全国唯一の実証現場

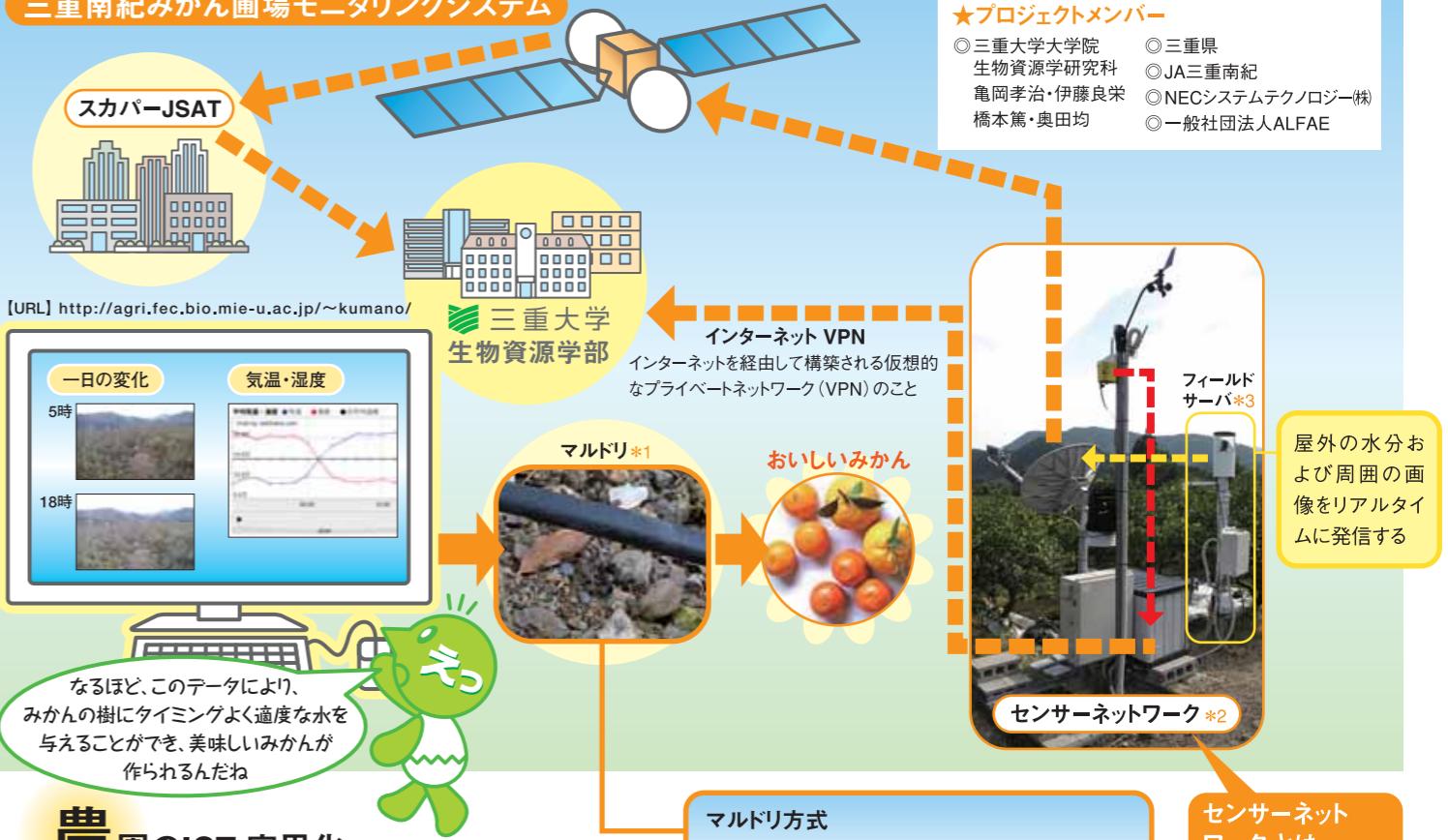
三重大学では1997年～2005年に「農林水産省ITプロジェクト」に参画し、X線や赤外線の波長の光、色彩などを分析し農作物の成分データ（糖度やビタミン含有量）、土壤の水分データを収集する光センサーで情報を蓄積・分析する圃場サーバ、蓄積した情報を農家同士でやり取りするネットワークなどの実証実験を行ってきました。

2008年からは今までの実験を生かした、「農林水産

●三重南紀地域で栽培されています（三重県のみかんの80%を生産）

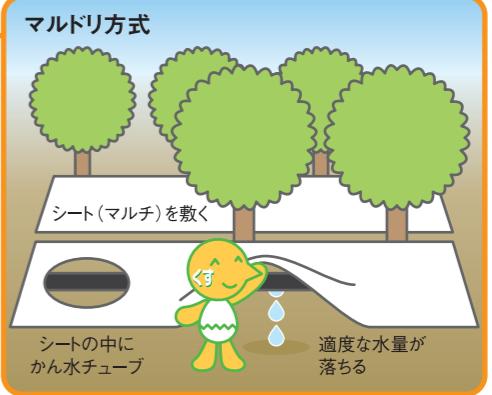


## 三重南紀みかん圃場モニタリングシステム



## 農園のICT実用化

「フィールドサーバ」等により得た、土壤水分など様々なデータを有効に活用したとえばマルドリ方式\*1で気温変動、特に降水量にも左右されずにみかんの樹に適度な水量を与えるなど、実際の農業現場で実験を行っています。この実験を通じ、「農作業が終わって疲れて家へ帰ってきた農家が、思わず見たくなるホームページ」の完成を目指しています。



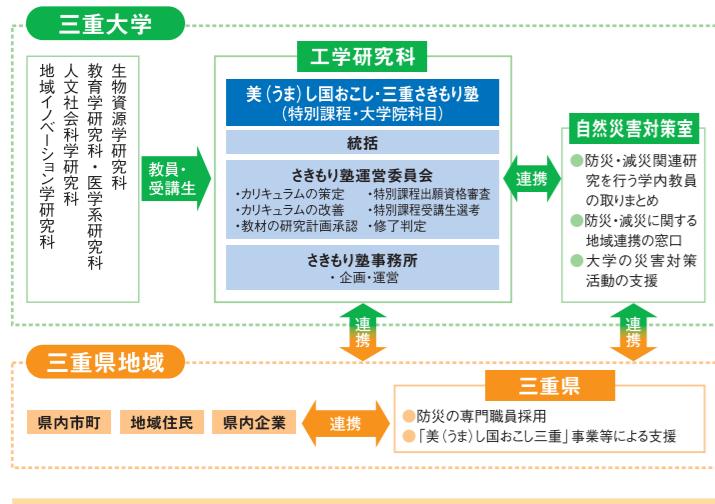
省成果活用型プロジェクト」とし、農業用小型気象観測ロボット「フィールドサーバ\*3」をはじめとした最新鋭のICTを熊野市の株金山パイロットファームの園地へ持ち込み、プロ農家の栽培技術を解析するとともに、「経験と勘」に頼った栽培から「計測データ」に基づく、より高度な栽培を目指して日夜研究を重ねているところです。

ここは日本で唯一の最新のICTを駆使した唯一の農場現場といえます。

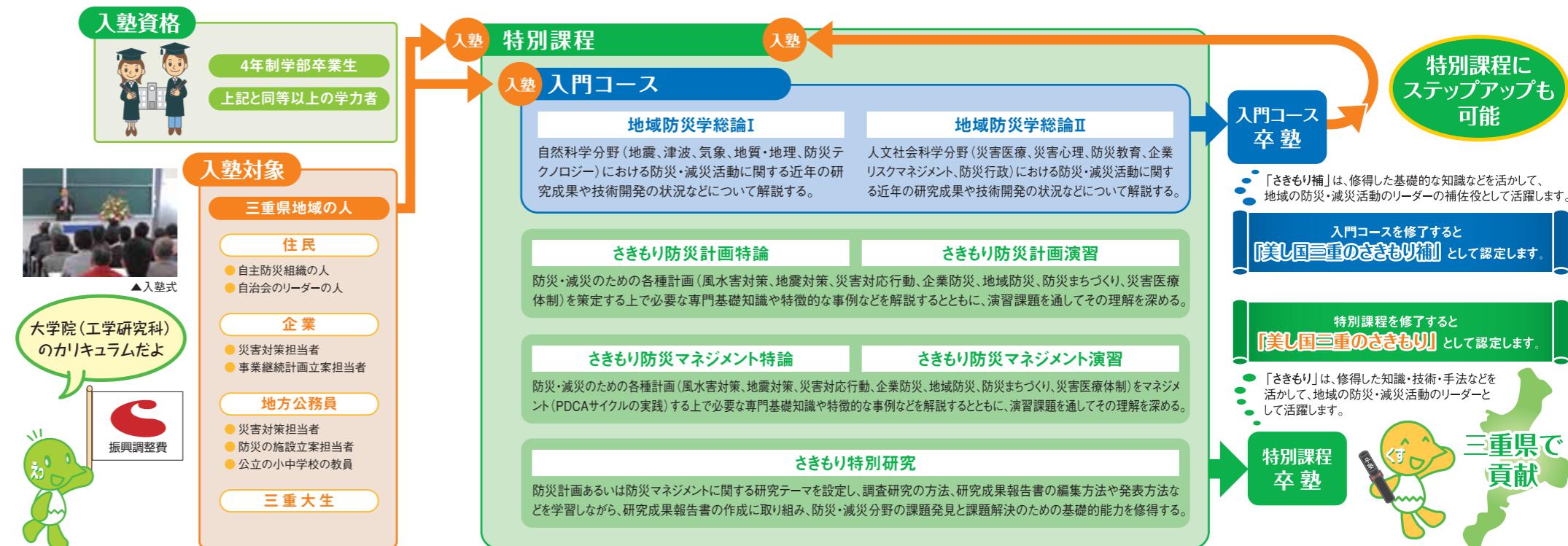
「美し国おこし・三重さきもり塾」では、三重県地域で発生する自然災害に備え、地域の防災・減災活動を率先して担うことのできる人材の養成を第一の目的としています。そのため、三重大学のスタッフが中心となり、三重県、市町、企業、NPO、県民、各研究機関などと連携協力して人づくりを行います。またさきもり塾は、防災・減災という共通の目的を持つ様々な地域や立場の塾生の皆さんに出会いの場を提供します。



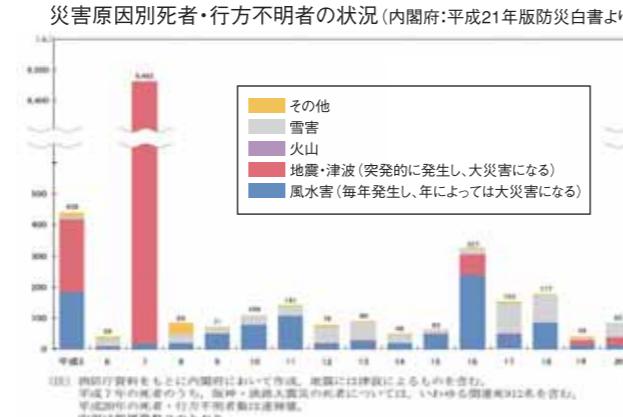
## 実施体勢



## 入塾・カリキュラム紹介



## 災害



## 防災・減災活動



「美し国おこし・三重のさきもり塾」は、全国的に先駆けて、主に社会人を対象にして、大学院に設置した防災・減災分野を専門とするユニークな特別課程です。「まちづくりは人づくり」とよくいわれますが、近い将来、必ず発生する東海・東南海・南海地震といった巨大災害に備えて、災害に強いまちをつくるための人材づくりはとても大切です。現在、さきもり塾の第一期生として66名(特別課程生19名・入門コース生47名)が入塾し、熱心に学んでいます。あなたも入塾して、大切な故郷、家族、友人を自然災害から守ることを学びませんか。

浅野 聰

三重大学大学院工学研究科・准教授  
(美し国おこし・三重さきもり塾 副塾長)

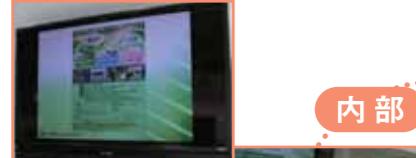


## インフォメーションセンター

3/15  
MON  
正門横

~地域住民の皆様とコミュニケーションを図るための総合案内~

施設やイベントの案内、情報誌やキャンバスマップなどの配布を行います。



内部



▲ディスプレイで  
情報をキャッチ  
できます



お気軽に  
お声掛け  
ください!



▲窓口の福田さん

## 新「さつき保育園」

3/30  
TUE

~安全で安心な保育園~



看護師や女性医師が安心して  
子どもを預けることができるよう、「さ  
つき保育園」を全面改築しました。



いただい  
ます!

安全に配慮した  
設計がされてます!



▲緊急放送設備



▲進入防止柵



▲指詰め防止

## ラーニング・コモンズ

~学生が自分で学習空間

をデザインできる~

共通教育棟  
3号館  
1111教室  
4/2  
FRI



▲グループワークもできます。  
▲デザインに関わった柴山依子さん  
(工芸研究科 修士課程1年生)



▶手作り弁当、おにぎり、パン  
など豊富な品揃え



えっ  
学長バウムや  
三重大学カレーも  
あるよ!



## 人文学部学生ラウンジ

3/25  
THU  
人文学部  
校舎1階

~学生たちの憩いの場~

3月30日には、人文学部校舎玄関でオープニングセレモニーと見学会が行われました。



▲毎日たくさんの学生でぎわっています。



▲ラウンジのデザインに関わった  
人文学部学生自治会執行委員長  
津田真美さん(人文学部3年生)

## 生協テイクアウトショップ

~オリジナル商品を提供~

■営業時間:ランチタイム  
(11:00~13:00)  
翠陵会館1階  
4/7  
WED



えっ  
学長バウムや  
三重大学カレーも  
あるよ!

## くつろぎ・憩いコーナー

~患者さまや面会の方などの休憩場所~

附属病院2階  
4/7  
WED

お弁当の持ち込み  
など、飲食もしていただけます。



ぜひ、ご利用  
ください!



## 生物資源国際交流室

~生物資源学研究科の国際交流の礎~

生物資源学部校舎2階  
4/7  
WED





2月

**受賞!!**  
第9回全日本男子  
なぎなた選手権大会  
「優秀監督賞」



\* 教育学部美術科の学生グループ  
「カゲムシャ」が  
パッケージを  
デザイン



3月

近鉄津駅長お薦めハイキング  
三重大学キャンパスと寒紅梅酒造



## 7日 第3回三重大学・鈴鹿医療科学大学 合同公開講演会「食と健康を考える」

鈴鹿医療科学大学で、食と健康についての公開討論会が行われ、200名を超える参加者は食品をバランスよく摂取することの大切さを認識しました。

## 15日 世界初 肺炎ワクチンの有効性証明に成功

多数の高齢者を対象に臨床研究を行い、「23価肺炎球菌ワクチン」が肺炎予防に高い効果を持っていることを証明しました。



## 4月

### 2日 白衣授与式

臨床実習がスタートする医学科新5年生101名は、先輩医師から厳かに白衣を授与されました。医師としてのあり方について考え、決意を新たに医師への道を踏み出しました。

### 8日 平成22年度入学式



学部生1,367名、大学院生512名、専攻科、編入学生、合計1,976名を新たに迎みました。今年は、アカデミックガウンに角帽といういでたちで学長が祝辞を述べられ、在学生による歓迎のパフォーマンスが行われました。



## 8日～9日 国登録有形文化財 レーモンドホール特別公開

かつては図書館や食堂として利用されていた、レーモンドホールの特別公開が行われ、新入生や教職員、卒業生など多くの方々が見学に訪れました。



## 8日～27日 台湾ローカル線写真展



村山充さん(附属図書館職員)が  
1977年から撮りためた中から30枚を展示

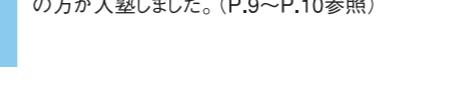
## 13日 放置自転車を再生

今年も環境ISO学生委員会では、キャンパス内に放置された自転車約400台を整理し、再利用できる37台を新入生や留学生に抽選で譲り渡しました。



## 17日 ~三重県の防災・減災活動を担う人材を育てる~ 「美し国おこし・三重さきもり塾」開塾

地域や職場で防災活動のリーダー的な役割を果たす人たちを中心に、県職員や会社員などの方が入塾しました。(P.9～P.10参照)



## 18日 「三重大学カレー」 三重県下のジャスコ16店舗で販売

食品加工メーカー「ヤマモリ」と共同で開発。宗田節だしのやさしい味で大人気!!ぜひ、一度ご賞味ください。  
(レトルトパック 180g 300円)

発売記念イベントで  
おいしさを来場者にPRする  
内田淳正学長



## 21日 シャルジャ首長国首長が来訪



UAEシャルジャ首長国首長スルターン・ビン・ムハンマド・アル・カーシミ殿下でシャルジャ大学名誉学長(写真前列中央)は「医学のみならずイスラム学など幅広い交流につなげたい」と期待を示され、歓迎式の後、附属病院を視察されました。

## 30日 鈴鹿市立神戸小学校4年生 キャンパスの大講義室や風車を見学

子どもたちは、「将来は大学でエネルギーの研究がしたい」「海洋資源の調査をやりたい」など、将来の目標を話していました。

## \* 15日 日本初「生きている化石」の貝発見

生物資源学部の海洋生態学実習中に新種の貝「セイシイガイ」を発見。この名前は、実習に使われた三重大学附属練習船「勢水丸」に由来します。貝類の進化を知る上でも重要な発見です。



セイシイ貝の表と裏側  
約3mm

## \* 23日 いのち 生命の駅伝ジョイント市民公開講座 ～知ってほしいがんのこと～

総務部定型業務等運営・支援センター・キャンパス環境整備グループの障がい者が、構内の環境美化の推進と憩いの場の再生を願い植えました。



4月中旬  
講堂北側の築山にて

## 23日 いのち 生命の駅伝ジョイント市民公開講座 ～知ってほしいがんのこと～

226名の参加者は、がん治療・予防について学ぶことができました。



閉会挨拶：  
中川正春  
文部科学副大臣

## 5月

### 2日 津ヨットハーバー祭2010で 附属練習船「勢水丸」船内見学



船員から説明を受ける参加者

## \* 15日 僕の部屋にも風船ヌーピー～笑顔が宝物～

子どもたちは、小児病棟で開催される夏祭りやボーリング大会が大好きです。病棟では、楽しい時間作りのために様々な活動がボランティアで行われています。



風船細工のボランティア  
(医学科6年 栗原康輔さん)

## \* 15日～23日 自転車走行環境整備事業 三重大学前国道に自転車レーン新設

国道23号線の三重大学前交差点から江戸橋北詰交差点に、幅4.5m長さ600mのレーンが新たに設置されました。



ペデジュー色が歩行者、青色が自転車専用



**井村屋製菓株式会社**

## ピカ1あずきバー

### ゆであずきの技術が「あずきバー」誕生へ

昭和37年、アイス事業をスタート。自社の特徴を生かした商品開発との思いが形となり、昭和47年、ついにあずきバー（当時30円）の販売を開始しました。生豆から加工する独自の技術と、添加物、安定剤、香料、色素を一切使用しないこだわりは今も引き継がれ、他社にない豊かな小豆の風味を実現しています。この優しい味は、親から子・孫へ次の世代にファンを広げています。



▲1日50万本のあずきバーを生産 壱巻!

### 世界の井村屋へ

「他社のマネをしない」という信念は、企業の品質保証に賭ける熱意と地道な努力を育て、「ゆであずき」を国際品評機関2009年度「モンドセレクション製菓製品部門銀賞」、あずきバーを2009年度「ロングセラー賞」受賞へと導き、国内外に名を轟かせています。



▲あずきバーが2009年度「ロングセラー賞」に輝く

## SPOT



～明治29年「井村和蔵」が三重県飯南郡松阪町（現在の松阪市中町）において和菓子製造業として創業～

- 所在地／〒514-8530 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
- 代表者／代表取締役社長 浅田剛夫
- 事業内容／菓子、食品、デリーチルド、加温、冷菓、冷凍菓子、調味料製造・販売及びそれに付帯する事業、レストラン事業
- 企業理念／楽しい商品 すぐれたサービス
- URL] <http://www.imuraya.co.jp/>



▲抹茶とあずきの絶妙な味に納得!!



▲人気の和風アイス  
あずきバー 宇治金時 ミルク金時

### 売上No.1あずきバー

あずきのいい香りが広がっている工場で生産されるあずきバーは、凍結工程から包装されるまで、なんと7分。ぞくぞくと出来上がるあずきバーに圧倒されます。国内で2社しか採用されていない急速冷却が可能な「バーサーライン」を導入する事で、1日に50万本、グループ全体で年間約2億本の生産販売を誇っています。これは、日本のアイスクリーム、氷カテゴリーで売上No.1の実績です。



## クラブ・サークル

### 水泳部

活動は  
5月末～8月 三重大学内プール  
オフシーズン 近くのスイミングスクール

僕たち水泳部は現在部員が28名で、大学から水泳を始めた人やインカレ※を目指している人など様々なレベルの人がありますが、それぞれのレベルに合ったメニューで日々練習に励んでいます。試合では、部員みんなの応援が力となり、ベストタイムが出た時の喜びは感無量です。

また、練習後にはみんなで食事に行ったり、秋旅行やスキーノー



※インカレ：カレッジ対抗スポーツ競技大会、各種スポーツ全日本学生選手権大会など

代表 山崎哲史  
(工学部建築学科3年)

### ベンチャーサークル

活動は  
毎週木曜日12:00～13:00  
生物資源棟117番教室



▲御浜町にて

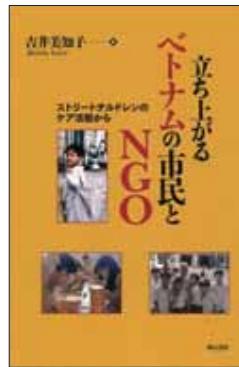
三重大学ベンチャーサークルは、「何かやりたい」「学生で出来る事って何?」と考えている学生が集まって、ディスカッションをしたり、イベントを主催したり、起業を目指す学生を支援するサークルです。

これまで、「つ・だいもん学生マルシェ」、「ツリーハウスプロジェクトIN美杉」、「ビジネスプラン作成合宿」、「農業インターンシップ」、「たこのすけ」、「ビジネスプランコンテスト」などの活動をしてきました。今後も、インターンシップや地域活性化につながるようなイベントを開催していきたいと思っています。



代表 稲富研祐  
(工学部建築学科2年)

## 本の紹介



『立ち上がるベトナムの市民とNGO』  
ストリートチルドレンのケア活動から

ひょんなことからベトナム駐在中に現地人と結婚した商社ウーマンが、夫がやっていたストリートチルドレンのケアを手伝い、NGOの立ち上げと経営に悪戦苦闘した経験を学問的にまとめました。こんな大変な国もあるんだということ、そして日本からの支援がいかに貴重かということを伝えたくて書きました。

単著／吉井美知子（国際交流センター教授）  
定価／4,000円（税別）  
発行／明石書店

著書名	著者・発行・金額（税別）
Photo/Electrochemistry and Photobiology in the Environment, Energy and Fuel 2009	編著／金子 聰（工学部准教授）他 Research Signpost 4,128円
新インターニューバーシティ 半導体工学	編著／平松和政（工学研究科教授） 元垣内敦司（工学研究科助教）他 オーム社 2,300円
語り合う文学教育 —子どもの中に文学が生まれる—	単著／藤原和好（名誉教授） 三重大学出版会 2,000円
やさしい構造材料実験	共著／畠中重光（工学研究科教授） 三島直生（工学研究科准教授）他 森北出版 2,800円
「みじめなアル中」から奇跡の人へ～長戸稔の半生～	編著／児玉克哉（人文学部教授） イリス総合研究所 1,905円
ヨーロッパ・ロシア・アメリカのディアスボラ	編著／江成幸（人文学部准教授）他 明石書店 5,000円

## 第13回 環境コミュニケーション大賞 「環境配慮促進法特定事業者賞」

2010年3月1日

本学が作成した「環境報告書2009」が、環境省と（財）地球・人間環境フォーラム主催の標記大賞を受賞しました。



ニッショーホールにて

## 平成22年 春の叙勲受章者

### 瑞宝中綬章（教育研究功労）

名誉教授・元生物資源学部  
松下 玄（まつした ふかし）  
教育者、研究者として長年にわたり、三重大学の発展に多大な貢献をされました。



「瑞宝章」は公共的な業務に長年従事して効力を積み重ねた人に贈られるんだよ

## 文部科学大臣表彰科学技術賞受賞

理事（研究担当）・副学長  
鈴木宏治



わが国の科学技術の振興発展に顕著な貢献をされたと認められました。

## 表 彰

受賞者	受賞名（受賞日）
水産実験所 教授 木村清志	2009年度 日本魚類学会 論文賞 (2009.10.11)
大学院工学研究科 准教授 早川聰一郎	第10回（社）計測自動制御学会 システムインテグレーション部門講演会 SI 2009 優秀講演賞 (2010.3.22)
大学院工学研究科 教授 小海文夫	2010 International Powered Laser Ablation (HPLA) Conference 最優秀ポスター賞 (2010.4.21)

## 学生表彰

2009年12月3日

### 日本刑事政策研究会 平成21年度「刑事政策に関する懸賞論文」佳作

人文学部3年  
辻 裕希  
(准教授 田中亜紀子)



2010年2月5日

### 第39回日本心脈管作動物質学会 研究奨励賞

医学系研究科（博）1年  
黒柳淳哉  
(教授 田中利男)



2010年2月25日

### 日本経営品質賞

医学系研究科（博）2年  
松浦信男  
(教授 西村訓弘)



2010年3月6日

### ライフサポート学会 奨励賞

工学研究科（博）1年  
水谷直紀  
(准教授 宮本啓一)



## 附属病院から

### 三重大学医学部附属病院 再開発 新病院建設中

現在建設中の病棟・診療棟にくわえ、外来患者さまの診察や、検査などを行うための建物を順次に建設していきます。



#### 建設設計画

- 構造・階数  
病棟・診療棟：鉄筋コンクリート免震構造12階建て（設備階を含む）  
外来・診療棟：鉄筋コンクリート5階建て（予定）
- 病棟数 685床
- 多床室 4床室中心
- 個室率 約30%

#### 整備工程

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 平成18年度 | 病棟一部改修、埋文試掘調査                 |
| 平成19年度 | 病棟・診療棟建設（5年間）                 |
| 平成23年度 | 病棟・診療棟開院<br>外来・診療棟建設（4年間）（予定） |
| 平成26年度 | 外来・診療棟開院（予定）                  |
| 平成27年度 | 旧病院取り壊し（予定）                   |



平成21年度新卒者の就職状況についてご報告いたします。

#### 平成21年度新卒者の就職状況調査表（就職者数）

学部学科別	卒業者数（人）			就職希望者数（人）			就職者数（人）			就職率（%）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
人文学部	285	97	188	238	75	163	226	71	155	95.0	94.7	95.1
教育学部	229	80	149	189	60	129	182	58	124	96.3	96.7	96.1
医学部医学科	98	61	37	95	59	36	95	59	36	100.0	100.0	100.0
医学部看護学科	93	3	90	86	3	83	85	3	82	98.8	100.0	98.8
工学部	436	388	48	152	124	28	146	118	28	96.1	95.2	100.0
生物資源学部	274	184	90	145	91	54	137	86	51	94.5	94.5	94.4
合 计	1,415	813	602	905	412	493	871	395	476	96.2	95.9	96.6

※医学部医学科の就職者は、臨床研修医の人数  
就職率 = 就職者数／就職希望者数×100

## 漢方外来・鍼灸外来開設

### ■ 漢方外来 <5/12より>

漢方薬の対象となるのは老若男女問わず、疾患も多岐にわたります。西洋医学的治療との併用も近年更に重視されております。

### ■ 鍼灸外来 <7/1より>

鍼灸治療とは鍼（はり）と灸（きゅう）を用い、ツボに対し施術を行い慢性的な身体の痛み・不調などに対応する医療です。現在アメリカやヨーロッパで盛んになっており、日本の大きな病院でも取り入れ始められました。

#### ◎ 漢方外来

診療日／毎週水曜日  
診療時間／8:30～12:00



#### ◎ 鍼灸外来

診療日／月～金曜日（完全予約制）  
診療時間／14:00～17:00  
料金／初診 4,500円  
再診 3,500円

●お問い合わせは、附属病院（代）059-232-1111 麻酔科外来まで

## なごみサロン

### ～患者さま同士の語り合いの場～開催

1月26日オープンしたリボンズハウスにて、なごみサロンを行います。

なごみサロンとは、がん患者さんや家族の方が、日頃の思いや生活上の工夫などを安心して語り合い、支えることを目指した交流の場です。

○日 時 ○2010年6月10日（木）、9月9日（木）、12月9日（木）、2011年3月10日（木）  
13時30分～15時

○場 所 ○三重大学医学部附属病院 1階 リボンズハウス

○対象者 ○がん患者さまとご家族

\*医療者への相談会や学習会ではございません。

○参加人数 ○15名 \*先着順とさせて頂きますので、ご了承下さい。

○申込先 ○三重大学医学部附属病院内リボンズハウス

☎059-232-1111（内線5132）月～金曜日 9:00～15:00

## 学務部就職支援チームから

平成22年5月1日現在

## 夏季休業

### 三重大学における 夏季一斉休業について

三重大学（医学部附属病院を除く）では、平成22年8月12日（木）・13日（金）を一斉休業させていただきます。ご理解の程よろしくお願いします。



## 教員免許状更新講習

**平成22年度教員免許状更新講習の受講申込を受付中です**  
開設日程、講習概要および受講申込手続き等については、ホームページ(<http://www.koushin.edu.mie-u.ac.jp/>)でご確認ください。  
○問い合わせ先○三重大学教員免許状更新講習事務サポートセンター  
☎059-231-9842/Eメール koushin@ab.mie-u.ac.jp

## 附属学校園から

### 附属幼稚園

#### 平成23年度入園希望の方へ

親子で幼稚園の見学をしてみませんか?  
○日 時○平成22年6月16日（水）・7月8日（木）  
午前 9:30～10:30 見学／午後10:30～10:45 説明会  
説明会の内容 6月16日「こんな子どもたちに」  
7月 8日「附属幼稚園の特色」  
○連絡先○附属幼稚園／☎059-227-1711  
○その他○お子様、保護者の方とも、上履きをご用意ください。  
駐車は、送迎用駐車場をご利用ください。

#### 緑いっぱいの園庭で遊びませんか?

園庭を開放しています。  
○日 時○毎週月曜日と木曜日 午後1:00～5:00  
(10月から月曜日は午後2:30からになります。)  
○その他○事務室受付で名前を記入してから遊んでください。  
トイレは管理棟、昇降口の所をご利用ください。  
ゴミはお持ち帰りください。  
使った玩具等は必ず片づけてください。

## FM三重で放送中!!

～学生の企画するFMラジオ番組～  
**「Campus CUBE」**

4月から本学のキャンパスバーソナリティーが新メンバーに!  
毎週金曜日20:30～20:55の間の25分間、放送中です!



## 公開講座・シンポジウムなど

### みえアカデミックセミナー 2010（三重大学）

三重学～三重の文化～

#### 親鸞と熊野権現

○講師○ 山田雄司（人文学部・准教授）  
○日時○ 平成22年7月19日（月・祝）13:30～15:30  
○会場○ 三重県生涯学習センター  
○受講料・定員○ 無料・140名  
○受講対象者○ 市民一般  
○問い合わせ先○ 三重県生涯学習センター／☎059-233-1151

### 三重大学公開講座「三重学～三重の文化～」

○会場○ 三重大学総合研究棟II 1階 メディアホール  
○受講料・定員○ 無料・先着100名  
○受講対象者○ 市民一般  
○問い合わせ先○ 総務部総務チーム広報室／☎059-231-9789

#### ①三重の文化遺産から世界遺産へ

○講師○ 花里利一（工学研究科・教授）  
○日時○ 平成22年8月27日（金）18:30～20:00  
②～人生も食も、さじ加減～ 食を通して人を育てる  
○講師○ 村林新吾（三重県立相可高校食物調理科・教諭）  
○日時○ 平成22年9月3日（金）18:30～20:00

#### ③伊勢湾の再生～命の連鎖～

○講師○ 前川行幸（生物資源学研究科・教授）  
○日時○ 平成22年9月10日（金）18:30～20:00

#### ④三重の食文化～魚を中心～

○講師○ 磯部由香（教育学部・准教授）  
○日時○ 平成22年9月17日（金）18:30～20:00

#### ⑤熊野古道を歩いて心も身体も健康になろう!

○講師○ 小森照久（医学部看護学科・教授）  
○日時○ 平成22年9月24日（金）18:30～20:00

### 人文学部公開セミ

○開催期間○ 9月～12月  
○会場○ 三重大学人文学部  
○受講料・定員○ 無料・各ゼミ20名  
○受講対象者○ 市民一般  
○問い合わせ先○ 人文学部チーム総務担当／☎059-231-9195

### 医学部公開講座

○開催期間○ 10月  
○会場○ 三重大学先端医学教育研究棟  
○受講料・定員○ 無料・約100名  
○受講対象者○ 市民一般  
○問い合わせ先○ 医学系研究科チーム総務担当／☎059-231-5428

### 工学部リカレント教育講座

ナノカーボン材料とその魅力  
○講師○ 小海文夫（工学研究科・教授）  
○日時○ 平成22年7月30日（金）15:00～17:00  
○会場○ 三重大学工学部情報工学棟1F 多目的会議室  
○受講料・定員○ 無料・30名  
○受講対象者○ 市民一般  
○問い合わせ先○ 工学研究科チーム／☎059-231-9467  
申込方法と期間「受講申込書」により郵送、FAX、メール  
6月1日（火）～7月23日（金）

### 親子（孫）で120%科学を楽しむ仮説実験講座 第5弾

#### 「レンズのひみつ」

○講師○ 木村妙子（生物資源学研究科・准教授）  
○日時○ 平成22年7月31日（土）、8月1日（日）10:00～15:00  
○会場○ 三重大学生物資源学部大講義室  
○受講料・定員○ 参加費（1家族）3,000円+十実験セット2,000円・60名（先着順）  
○受講対象者○ 小学生以上（小学生は保護者同伴）  
○問い合わせ先○ 生物資源学研究科チーム／☎059-231-9626  
申込方法と期間「受講申込書」により郵送、FAX、メール  
7月5日（月）～7月23日（金）

### 三重大学・JAグループ三重共催「食・農・いのちの市民講座」

○受講料・定員○ 無料・各講座共30名  
○受講対象者○ 市民一般  
○問い合わせ先○ JAグループ三重役員室共通企画課／☎059-229-9222

#### 津 会 場 ○日 時○ 平成22年7月31日（土）13:30～16:30 ○会場○ アスト津「橋北公民館」会議室

#### 四日市会場 ○日 時○ 平成22年8月21日（土）13:30～16:30 ○会場○ 地場産業振興センター「じばさん三重」視聴覚室

#### 松 阪 会 場 ○日 時○ 平成22年8月28日（土）13:30～16:30 ○会場○ 松阪フレックスホテル 飛鳥の間

#### 伊 勢 会 場 ○日 時○ 平成22年9月4日（土）13:30～16:30 ○会場○ 伊勢商工会議所 中ホール

#### ①稻作からみた日本の生活文化

○講師○ 松葉捷也（元生物資源学研究科・教授）

#### ②農村景観を科学する

○講師○ 大野 研（生物資源学研究科・准教授）

#### ③植物で土をきれいに

○講師○ 水野隆文（生物資源学研究科・准教授）

### 生物資源学研究科公開講座

○開催期間○ 10月  
○会場○ 三重大学生物資源学部  
○受講料・定員○ 無料・50名  
○受講対象者○ 市民一般  
○問い合わせ先○ 生物資源学研究科チーム総務担当／☎059-231-9626

### 三重大学発産学官連携セミナー in 伊賀 2010

○日時○ 平成22年7月16日（金）13:30～17:00  
○会場○ ヒルホテルサンビア伊賀（旧ウェルサンビア伊賀）  
○参加費○ 無料  
○問い合わせ先○ 三重大学社会連携研究センター 伊賀研究拠点／☎0595-41-1071

### 第3回BDFセミナー

○日時○ 平成22年8月6日（金）13:00～16:00  
○会場○ 三重大学社会連携研究センター 伊賀研究拠点（伊賀市ゆめが丘一丁目三の三）  
○参加費○ 無料  
○問い合わせ先○ 三重大学社会連携研究センター 伊賀研究拠点  
辻村／☎0595-41-1071

### 三重大学フィールドサイエンスツアーカンペ

■演習林キャンプ  
○受講料・定員○ 演習林（日帰り）600円・20名  
○受講対象者○ 県内在住・在学女子高生及び女子高専生  
○題目○ 源流の森で、森林生態系について考えよう!  
○日時○ 平成22年7月27日（火）  
○会場○ 生物資源学研究科附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター（FSC）・演習林  
○問い合わせ先○ 板谷明美（生物資源学部）／☎059-231-9513  
Eメール itaya@bio.mie-u.ac.jp

### 水産実験所キャンプ

○受講料・定員○ 水産実験所（一泊二日）2,500円・20名  
○受講対象者○ 県内在住・在学女子高生及び女子高専生  
○題目○ 英虞湾の無人島で海の中の生物をのぞいてみよう!

○日時○ 平成22年8月9日（月）・10日（火）

○会場○ 生物資源学研究科附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター（FSC）・水産実験所  
○問い合わせ先○ 柏木正章（女性研究者支援室）／☎059-231-9830  
Eメール kasiwagi.masaaki@mie-u.ac.jp

### 農場・野菜茶業研究所キャンプ

○受講料・定員○ 農場・野菜茶業研究所（一泊二日）3,000円・20名  
○受講対象者○ 県内在住・在学女子高生及び女子高専生  
○題目○ 身近な食べ物を科学しよう!

○日時○ 平成22年8月19日（木）・20日（金）

○会場○ 生物資源学研究科附属紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター（FSC）・農場  
および（独）農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所

○問い合わせ先○ 田和義（生物資源学部）／☎059-231-9587  
Eメール nada@bio.mie-u.ac.jp

### ?「発見塾」三重大学シリーズ 2010

○問い合わせ先○ 津市文化協会事務局／☎059-228-8393

#### 最近の海の環境問題と私たちの生活

○講師○ 前田広人（生物資源学研究科・教授）

○日時○ 平成22年7月24日（土）13:30～ ○会場○ 津図書館2階 視聴覚室

#### からだにやさしい発酵食品

○講師○ 磯部由香（教育学部・准教授）

○日時○ 平成22年9月25日（土）13:30～

○会場○ 久居中央公民館3階 大会議室

#### 音環境とサウンドスケープ

○講師○ 島貴根（工学研究科・准教授）

○日時○ 平成22年11月27日（土）13:30～

○会場○ 津市まん中交流館 研修室

#### 目からウロコ！背骨の病気の大発見

○講師○ 笠井裕一（医学系研究科・教授）

○日時○ 平成23年1月22日（土）13:30～

○会場○ 津市白山総合文化センター 多目的室

#### 江戸時代の伊勢参り — 津を通った弥次さん喜多さん —

○講師○ 吉丸雄哉（人文学部・准教授）

○日時○ 平成23年3月19日（土）13:30～

○会場○ 津図書館2階 視聴覚室

### みえ防災コーディネーター育成講座

災害に強い地域・組織づくりをするためにあなたの力が必要です!

全32講座のうち26講座以上受講された方は「みえ防災コーディネーター」に認定されます。

○開講日○ ※（ ）内は尾鷲会場実施日です。但し、①、②、③は津会場での受講となります。

①7月11日、②7月25日（7月31日）、③8月1日（8月7日）、  
④8月22日（8月28日）、⑤9月12日（9月25日）、⑥9月26日（10月2日）、  
⑦10月3日（10月16日）、⑧10月17日（10月23日）、⑨10月24日（11月6日）、  
⑩11月7日（11月13日）、⑪11月14日（11月20日）、⑫11月21日（11月27日）、  
⑬11月28日

○会場○ 津（三重大学、三重県庁ほか）、尾鷲（尾鷲市防災センターほか）

○受講資格○ 三重県在住、在勤、在学で全期間受講可能な地域の防災活動経験者、企業の防災担当者など、地域の防災活動に参画する意欲のある方

○受講料・定員○ 無料・50人（防災士資格取得試験料等は除く）

○応募期間○ 平成22年5月28日（金）～6月27日（日）

○問い合わせ・申込み先○ 三重大学自然災害対策室

〒514-8507 津市栗真町屋町1577 社会連携研究センター

☎& FAX059-231-5486/Eメール suzui@dimo.mie-u.ac.jp

初瀬街道は、伊勢街道の六軒茶屋（松阪市）で分かれ、青山峠を越えて大和の初瀬（長谷）を通り、京都や大阪に向かう道でした。鉄道のない時には多くの旅人で賑わい、伊勢側では小川（松阪市）・八太・田尻・大仰・大村（一本木）・垣内（津市）などの宿場が発達しました。

津市一志町井関の谷戸坂は、明治二十七年（一八九四）に幅広い県道が開鑿されました。



今に霧岡気を残す谷戸坂▶

その北側には古い街道が残つており、今にその霧岡気を伝えています。かつては桜が多く「桜峠」と言われ、峠の茶店には「貸鉄砲」や「よぶ弓」もあり、旅人を楽しませたようです。

この谷戸峠を西に下ると大仰宿で、ここで旅人は雲出川を渡りました。対岸には天明三年（一七八三）の常夜灯が残り、傍には新しく立てられた「大仰有料橋跡」の碑があります。

沿いには天台真盛宗開祖真盛上人が生まれたといふ誕生寺が見えます。そして、さらに西には真盛上人の幼児期の伝説に関わる笠着地蔵があり、大きな磨崖地蔵尊の光背両側には「毎日晨朝入諸定入諸地獄令離苦」「無仏世界度衆生今世後世能引道」と刻銘があることが最近の調査でわかりました。

また、付近には中勢鉄道（輕便鉄道）の軌道跡がよく残り、それをたどることもできます。



▲笠着地蔵



## 三重大 X[えっくす] vol.22

平成22年6月1日発行  
 ●発行／三重大学広報委員会  
 ●編集／三重大学広報室  
 ●印刷／有限会社アートピア artopia@ztv.ne.jp  
 ○禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

三重大学総務部総務チーム広報室  
 〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
 TEL 059-231-9789/FAX 059-231-9000  
 ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>  
 E-mail [koho@ab.mie-u.ac.jp](mailto:koho@ab.mie-u.ac.jp)

\*ご意見をお寄せください。

### 本誌お問い合わせ先

## お願い

### 三重大学振興基金への ご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

○学生への奨学金及び災害時の学資援助事業 ○学生の修学環境整備事業  
 ○学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業  
 ○地域貢献支援事業 ○その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただき、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください。（FAX・E-mailでもOKです）。

**三重大学振興基金事務局**  
 【総務部総務チーム内】  
 〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
 TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000  
 E-mail: [kokin@ab.mie-u.ac.jp](mailto:kokin@ab.mie-u.ac.jp)  
 URL: <http://www.mie-u.ac.jp/fund/>

## メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています（発行：毎月末）。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。  
 1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。  
 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。  
 ①「一般」もしくは、「三重大生（保護者）」 ②お住いの都道府県  
[koho@ab.mie-u.ac.jp](mailto:koho@ab.mie-u.ac.jp)  
 できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことがあります。

## アンケートに答えて…

### 三重大学オリジナル“えっくすくんわくわくシャーペン”をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力ををお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。

どうぞお寄せください。（先着100名）

\*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわくわくシャーペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



### 伊賀市文化フォーラム2010

○会場○ 伊賀上野交流研修センター ○受講料・定員○ 無料・各約50名（申込み不要）  
 ○問い合わせ先○ 三重大学附属図書館研究開発室／☎059-231-9072  
 皇學館大学社会福祉学部地域福祉文化研究所／☎0595-61-3351  
 伊賀市教育委員会生涯学習課／☎0595-22-9679

#### ■第1回「近世伊賀における寺院の復興」

○講師○ 多田實道（皇學館大学文学部・講師）  
 ○日時○ 平成22年6月20日（日）14:00～15:45

#### ■第2回「倭（やまと）を支えた伊賀の人々～伊賀国成立の背景を探る～」

○講師○ 山中 章（人文学部・教授）  
 ○日時○ 平成22年7月11日（日）14:00～15:45

#### ■第3回「伊賀地域の民俗行事」

○講師○ 櫻井治男（皇學館大学社会福祉学部・教授／学部長）  
 ○日時○ 平成22年7月18日（日）14:00～15:45

#### ■第4回「なぜ、あなたは運動をしてもダイエットに成功しないのか？－運動とダイエットの誤解－」

○講師○ 片山靖富（皇學館大学教育学部・助教）  
 ○日時○ 平成22年8月1日（日）14:00～15:45

#### ■第5回「若い女性のやせと次世代の健康」

○講師○ 杉浦絹子（医学部・准教授）  
 ○日時○ 平成22年8月8日（日）14:00～15:45

#### ■第6回「食はこどもの心と体をつくる～家庭での食育～」

○講師○ 磯部由香（教育学部・准教授）  
 ○日時○ 平成22年8月22日（日）14:00～15:45

## 催し物

### パネル展示会

世界一の環境先進大学を目指して～環境ISO学生委員会の取り組み～  
 ○日時○ 平成22年6月2日（水）～6月30日（水） 平日8:45～21:45 土日9:00～18:30  
 ○会場○ 三重大学附属図書館玄関ホール  
 ○問い合わせ先○ 三重大学情報図書館チーム閲覧担当／☎059-231-9088

### 全国大学・高専卒業設計展示会2010（三重大会場）

○日時○ 平成22年6月11日（金）～6月13日（日）9:00～17:00（13日は16:00まで）  
 ○会場○ 三重大学三翠ホール ロビー・小ホール ○入場料○ 無料  
 ○問い合わせ先○ 毛利志保（工学部建築学科）／☎059-231-9477

### 三重大学管弦楽団 サマーコンサート2010

○日時○ 平成22年7月17日（日）開場14:00 開演14:30  
 ○会場○ 三重県総合文化センター 三重県文化会館大ホール ○入場料○ 600円（当日 700円）  
 ○問い合わせ先○ 三重大学管弦楽団／☎080-1602-7200

### 三重大学工学部物理工学科2010年度レゴロボット大会

○日時○ 平成22年8月4日（水）13:00～  
 ○会場○ 工学部情報工学科棟 1F 多目的会議室  
 ○問い合わせ先○ 工学部物理工学科 秋山（akiyama@phen.mie-u.ac.jp）  
 ★などとも または 野呂（noru@phen.mie-u.ac.jp）  
 見学できます!!★ URL <http://nickel.phen.mie-u.ac.jp/LEGO/index.html>

### 「札幌聖ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展

～三重大学レーモンドホールの木造モダニズムの系譜～  
 ○会期○ 平成22年9月14日（火）～9月25日（土）

○会場○ 三重大学三翠ホールホワイエ（展覧会）

#### 講演会

○日程○ 平成22年9月18日（土） ○会場○ 三重大学三翠ホール 小ホール  
 ○講師○ 松隈 洋氏（京都工芸繊維大学美術工芸資料館教授）  
 「レーモンドと日本」（仮題）

○問い合わせ先○ 三重大学情報図書館チーム総務担当／☎059-231-9032

# Mie University Open Campus 三重大学 オープンキャンパス 2010

## 学部学科等の紹介、 入試説明、体験授業、 研究室見学 など

8.3  
8月3日(火)  
工学部  
TUE

8.4  
8月4日(水)  
人文学部  
WED

8.5  
8月5日(木)  
教育学部  
THU

8.10  
8月10日(火)  
生物資源学部  
TUE

8.11  
8月11日(水)  
医学部  
WED

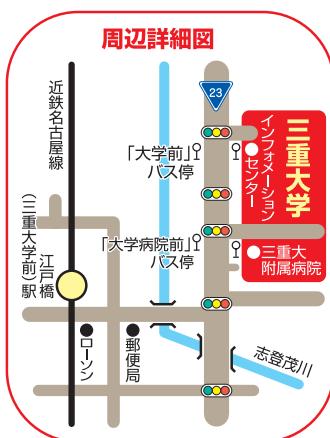
お問い合わせ先

〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
三重大学学務部入試チーム  
TEL 059-231-9063  
FAX 059-231-5382

オープンキャンパスに関する詳細は、  
本学ホームページ「入試情報」にて決まり次第お知らせします。

## 受験生、保護者の皆様へ

三重県、愛知県などで開催する進学説明会等・相談会においても、本学の様々な情報を提供いたします。詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。



## 交通のご案内

- 近鉄江戸橋（三重大学前）駅から徒歩約15分
  - 津駅からタクシーで約10分
  - 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」（06系統）、「太陽の街」（40系統）、「三重病院」（51系統）、「稲本（むくもと）」（52系統）、「豊里ネオボリス」（52系統）、「サイエンスティ」（52系統）、「三行（みゆき）」（53系統）行きで、「大学前」下車。
  - 中部国際空港（セントアーチ）から  
津エアポートラインで津なぎさまちへ40分  
1.「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分  
2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分



二重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
 TEL 059-232-1211(代)  
<http://www.mie-u.ac.jp/>

